

## 天然水晶の見分け方

水晶が本物の水晶か、そうでないか見分ける方法です。

水晶には複屈曲性と単結晶と言う特徴があります。

この性質があるか否かをテストして「水晶」か「水晶でないか」の鑑別をします。

あくまでも、透明の丸玉水晶が対象です。クラックが入っていたり、ルチルやファントムが出ていたりするものは、鑑別するまでもなく、天然水晶です。

### 1. 複屈曲性のテスト(水晶か否か)

水晶の形状は丸玉で、直径40mm以上が必要です。

丸玉の下にウブ毛・髪の毛など、非常に細いものを置きます。

丸玉を通してウブ毛を覗いて、二本に見えたら、この丸玉は複屈曲性があるため、「水晶」であります。

ご注意: 丸玉はウブ毛に密着してかまいません。

ウブ毛が一本しか見えないようでしたら、その丸玉をゆっくり回して下さい。

水晶であれば丸玉を回すとその線は一本になったり二本になったりします。

### 2. 単結晶のテスト(水晶か否か)

水晶の形状は丸玉です。小さめの丸玉でもOKです(40mm以下でもOK)。

偏光板が2枚必要です。東急ハンズで売ってます(あるいは写真屋さんで売っているかもしてません)。数百円くらいです。

偏光板を2枚重ねます。偏光板を通して、電灯などを見ます。2枚の偏光板のうち、片方の偏光板を回転させると、

電灯が暗くなったり明るくなったりして見えます。最も暗くなるところで偏光板の回転を止めます。

この2枚の偏光板の間に、丸玉を挟みます。

偏光板は動かさず、丸玉を回転させながら、この丸玉を偏光板を透して観ます。

同心円が一つ見えたら、この丸玉は単結晶であるため、「水晶」であります。

ご注意: 同心円が見えなかったり、同心円が2つ以上見えたりした場合、この丸玉は「水晶」ではありません。

### 3. 合成水晶特有の模様の観察(天然か否か)

合成水晶特有の模様を観察し、それらが認められれば、「天然水晶」ではありません。

丸玉に横から光を当てます。光の方向の垂直方向から観察し、縦の縞模様が見られれば、この丸玉は合成水晶です。

つまり、「天然水晶」ではありません。

丸玉に横から光を当てます。光の方向の水平方向から観察し、雲模様が見られれば、この丸玉は合成水晶です。

つまり、「天然水晶」ではありません。

この方法はうまく光を当てなければ分かりません。

### 3. 赤外線吸収(天然か否か)

「赤外線吸収分析装置」なるもので、赤外線の吸収を観察します。

そのグラフが、天然水晶特有の曲線を描くかを観ます。

「赤外線吸収分析装置」はとても高価なため、権威のある宝石鑑別会社でないと置いていません。

一般の方がこの方法で鑑別を行うのは、費用がかかりすぎるため、宝石鑑別会社に依頼して鑑別するのが良いでしょう。

宝石鑑別会社に依頼したとしても、通常数万円の料金を請求されるため、高価な水晶でないと意味がありません。

### なぜ、合成水晶が出回るのか?

原価が天然水晶よりも安いからです。

天然水晶は産出量が限られています。それに対して、合成水晶は人工で作られるため、大量に作るすることができます。

合成水晶をつくるにも、天然の水晶(種水晶とラスカ)が使われます。その合成水晶を良質にするには、良質の天然水晶が必要です。

したがって、合成水晶もそれなりに費用がかかります。

現状では30mm以下の水晶ですと、合成水晶よりも、天然水晶のほうが安いとのこと。

(30mmより小さな水晶は天然であると言うことを、保証するものではありません)

### 参考HP:

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20060629/118700/>

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20060707/118942/>

[http://www.qiaj.jp/pages/frame20/page01.html#sec\\_07](http://www.qiaj.jp/pages/frame20/page01.html#sec_07)